



誇れる街、中区

市議員

いのすけ 俊之助



発行：自民党横浜市議員団

編集：いなみ俊之助事務所 横浜市中区上野町2-67 TEL：045-625-1200
http://www.inami-yokohama.com info@inami-yokohama.com

決算特別委員会都市整備局審査 2017.10.06

質問項目

- 1: 中期4か年計画
- 2: 都心臨海部滞在環境
- 3: コミュニティサイクル
- 4: 横浜駅周辺まちづくり
- 5: 関内関外地区活性化
- ・教育文化センター跡地活用
- ・大岡川の賑わい創出と安全確保
- 6: まちの不燃化推進事業
- 7: 可動式ホーム柵整備

伊波の発言が掲載されました！！ 2017.10.07 神奈川新聞



伊波 俊之助 委員
自由民主党 中区

水上バイクの危険な暴走行が横浜市内を流れる大岡川で問題となる中、横浜は6日、河川施設の利用者による自主ルール「安全航行ガイド」を地元団体が改定し、水上バイクの速度規制を盛り込んだことを明らかにした。平原敏英副市長は「一定のルールを守って利用者相互が理解し合い、活用することが大事。市としても関係局の総力を挙げて取り組みたい」と、排除ではなく共存に向けて意欲を示した。

いなみのおもい

国際競争力強化、経済活性化のための都心部のまちづくり、拠点整備と誘導による郊外部のまちづくり、誰もが移動しやすい交通体系づくり、災害に強いまちづくり等持続的な成長・発展や魅力を更に高めるための都市づくりを幅広く進めている中、今年度は中期4か年計画の最終年度であるので「人や企業が躍動できる舞台としての都市構築」に向けて更に取り組んでいくべきと考えます。

水上バイク 速度制限を 大岡川の自主ルール改定

（自民党の質問に答えた）
大岡川桜橋などを利用するカヌーや、スタンドアッパードボード（SUP）など非動力船が増加していることから、町内会や商店会、水上レクリエーション団体などでつくる一般社団法人大岡川の駅運営委員会が2015年7月にガイド（自民党の質問に答えた）
大岡川桜橋などを利用するカヌーや、スタンドアッパードボード（SUP）など非動力船が増加していることから、町内会や商店会、水上レクリエーション団体などでつくる一般社団法人大岡川の駅運営委員会が2015年7月にガイド

ドを作成した。
水上バイクが問題視される中、同委員会は、市や県などの関係機関の協力を得て実証実験を行った上で9月27日にガイドを改定。水上バイクは時速8キロ未満程度で徐行し、非動力船の周辺では時速5キロ未満程度の最徐行で航行することなどを新たに求めた。
河川での水上バイクの暴走行為を巡っては、県警は県迷惑行為防止条例の適用対象になるとの見解を示している。（三木 崇）

決算特別委員会 道路局審査

2017.10.11

質問項目

- 1: 平成28年度決算概要
- 2: 横浜環状南線及び湘南道路の整備
- 3: 都市計画道路の整備推進
- 4: 自転車総合計画
- 5: 河川等の除草
- 6: 道路局管理施設の長寿命化へ向けた取り組み
- 7: 道路局における技術職員の人材育成



伊波 俊之助 委員
自由民主党 中区

いなみのおもい

私は横浜が大都市として発展していくためには「長くこの街に住み続けたい」「是非横浜に行ってみたい」と思われるまちづくりが必要と考えますが、そのためには頻繁に渋滞が発生して移動が困難な状況や道路や河川の整備、維持管理が不十分な状況は大きな障害になると危惧しています。市民生活や経済活動を営む上で基盤となる社会インフラである道路や河川の役割は極めて重要であるので道路局としても着実に整備を進め、様々な工夫をしながら取り組んでいくべきと考えます。

平成29年10月22日施行

10/22(日) 投開票の衆議院選挙神奈川1区(中区・磯子区・金沢区)では、自民党公認として7期目の戦いとなる前国家公安委員として、おかげ様で選挙区当選を果たすことができました。国・県・市が連携し、私たち日本の安全、生活の安心、子どもが安心して暮らせる社会を任せられるのは、神奈川1区において【松本純】候補者としてお話しさせて頂きました。また、私自身市会議員として初めて参事としての多い衆議院選挙でした。



【神奈川1区】【定数1】

候補者名		党	得票数	得票率	有権者数 選挙区	投票率 選挙区	投票者数 選挙区
当	松本純	自 民	103,070	46.55%	426,894	51.59%	220,245
	篠原豪	立 憲	78,019	38.59%			
	長島一由	希 望	34,433	14.86%			

候補者名	党	得票数	得票率	有権者数 選挙区	投票率 選挙区	投票者数 選挙区
松本純	自 民	27,518	50.13%	117,403	47.90	56,239
篠原豪	立 憲	17,978	32.75%			
長島一由	希 望	9,401	17.12%			

2017.08.31 号



検索

■2015年4月の選挙で初当選
 ■47歳、17歳の娘と4歳の息子の子育で真っ最中
 [資格]ホームヘルパー2級
 [市会所属委員会]健康福祉・医療委員会
 減災対策推進特別委員会(副委員長)、市会運営委員会
 事務所:中区上野町2-67 ☎045-625-1200
 いなみ俊之助 検索

策推進特別委の副委員長として、横浜市の災害対策を改めて確認するとともに、地域の声を聴き、活きた防災減災対策を施策に反映できるよう、市会議員の仕事に取り組んでいきます。

この時期は区の総合防災訓練や各地域の防災拠点で訓練が行われています。まずはお住まいの地域の訓練

てきます。市では拠点ごと なると思います。

に防災資機材を一律に配置 災害時には、地域のつな
していますが、山間部など がりが大きな「防災力」に
ではトランシーバーが外部 なります。今年度、減災対

のような現状を市民一人ひとりが認識し、防災対策に改めて取り組む機会にすべきだと思います。

よいのかを実際に歩いて確認することができ、問題があれば対策もできます。また、地域固有の課題もみえ、このような取組みも参考に

が経ちますが、横浜で今後30年以内に震度6弱以上の地震が起こる可能性は8割以上といわれています。そ

得ることができるからです。訓練に参加できる環境整備がけ地の近くであれば土砂災害への備えとして、ど策として、例えば間門小学のような経路で避難すれば校では授業の一環として地

9月1日は「防災の日」
です。関東大震災から94年

に参加することが大切。な していきます。

市政報告
地域のつながりが
最大の「防災力」に

とつながらないという報告もあります。そのため、地域の特徴に応じた資機材が必要だと考えており、その点も、今後とも市会で主張

昭和45年7月3日生。本牧元町北部少年野球部 卒団。
現在、YOKOHAMA NEW WAVE
(中区ソフトボール協会 2 部リーグ) 選手兼任監督
＜活動＞
認定NPO法人日本釣り環境保全連盟 副代表理事
日本・ルーミア協会 理事
社会福祉法人 山手まごころの会 理事
中区ソフトボール協会 会長
横浜市青少年指導員 (中区)
横浜市立間門小学校同窓会理事
本牧和太郎 委員

＜経歴＞

リンビン幼稚園 卒園	平成 6 年 神糧物産株式会社
横浜市立本牧南小学校 入学	平成 7 年 自民党衆議院神奈川第 2 選挙区支部長
横浜市立開門小学校 卒業	菅原隆秘書官 公設第2秘書 総務大臣秘書官
横浜市立大島中学校 卒業	平成21年警事務所に卒業
私立逗子開成高等学校 卒業	平成22年横浜市会議員伊波渡之助事務所
奈良産業大学法学部 卒業	平成27年横浜市長選挙 区(中) 初当選

＜資格＞

ヘルパー2級 釣り・ソフトボール・キャンプ
 <家族> <アルコール>
 妻・長女（18歳）・長男（4歳） 全くだめ

<趣味>

釣り・ソフトボール・キャンプ
長男（4歳） **<アルコール>** 全くダメ

封閉・シ

長男（4歳） 全くダメ

平成29年9月現在